※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）地理演習 B	単位数	1 単位	年次	3 年次後期
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料コンプリート 2024（帝国書院） 2026 データブックオブザワールド（二宮書店） 新地理の研究（啓隆社） 2026 年共通テスト対策　地理総合・地理探究（株式会社ベネッセコーポレーション）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１・２・３年次の知識を固めるべく、演習に取り組みながら再確認し基礎を築く。
また、演習を通じて広い視野を持ち、知識と知識のつながりを増やしてより深く掘り下げていく。

2　学習の到達目標

（1）問題演習を通じて、世界の諸地域の特徴を多面的・多角的に考察し、各地域の多様な特色や課題を理解し、現代世界の抱える諸課題に対し、主体的に課題解決に取り組むうえで必要な知識を養う。
（2）問題演習を通して、さまざまな地理的資料を的確に捉え、論理的に分析しようとしている。また、それらの分析内容を適切に理解し表現することができる。
（3）問題演習を通じて、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の様々な課題を理解し、考察、表現するための語句、仕組みなどの知識を習得している。 問題演習を通して、諸資料を適切に収集し、収集した資料から有用な情報を適切に選択し、問題を解くことができる。	問題演習を通して、さまざまな地理的資料を的確に捉え、論理的に分析しようとしている。	地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	総合問題演習	東アジア 東南アジア 南アジア 西・中央アジア アフリカ ヨーロッパ ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ オセアニア	a: 演習問題に関する地理の用語を理解し、その知識を身につけている。 b: 演習問題に関する地理的事象を、資料に基づき多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 演習問題に関してノートやプリントの作成などに主体的に取り組み、地域間における特色や問いを表現し、追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出プリント 確認テスト 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度